

## 令和3年度 第2回 佐賀県後期高齢者医療広域連合運営懇話会 会議概要

- 日 時 令和4年1月28日(金) 14:00~15:35
- 場 所 佐賀市大和支所 2階 第2会議室
- 委員出席者 倉田会長、木下委員、山元委員、江口隆郎委員、本田委員、城委員、今泉委員、久米委員、江口光幸委員、狩野委員
- 事務局 牧瀬事務局長、実本副事務局長兼総務課長、吉田業務課長、右近総務課副課長兼財政係長、無津呂業務課副課長兼給付係長、富永総務係長、稲富資格賦課係長

### ○ 意見及び質疑応答要旨

#### 1 医療費の現状について

- |        |   |
|--------|---|
| (事務局)  | ・ 令和3年度の医療費の状況<br>・ 保険給付費の推移  |
| (委員)   | 令和3年度の療養諸費の中で訪問看護療養費だけが増加すると見込まれているが事業所等の増加に伴ってなのか。   |
| (事務局)  | 佐賀県の第7次保健医療計画に基づき、病院完結型から在宅療養支援診療所及び訪問看護ステーションを増やして対応する地域完結型に移行していることに伴って増加している。<br>また、令和2年度は訪問看護ステーションが90事業所から96事業所に増加していることも影響していると思われる。<br>なお、新型コロナウイルス感染症のまん延の影響により令和2年度以降、在宅にて訪問看護による処置を受けられるケースが増加していると推測される。 |
| (委員)   | 訪問看護やステーションに関する広報等はどうなっているか。  |
| (他の委員) | 佐賀県医師会の訪問看護ステーション連絡協議会で行っている。   |

#### 2 豪雨災害及び新型コロナウイルス感染症への対応について

- |       |   |
|-------|---|
| (事務局) | ・ 令和3年8月豪雨による災害への対応<br>・ 新型コロナウイルス感染症への対応   |
| (委員)  | 豪雨災害による一部負担金の減免件数が251件で、レセプトの件数が98件となっている。この件数のずれの理由は何か。  |
| (事務局) | 減免件数については、人数になる。<br>レセプトの件数については、減免対象者が医療を受けたレセプトの件数となる。<br>件数のずれは、10月診療分までが98件となっているので減免終了期間(申請月から6か月)までに件数は増加すると思われる。 |

- (委員) 保険料の減免申請が410件で一部負担金の減免申請が400件。このずれている件数は申請漏れなのか。
- (事務局) 一部負担金の減免対象には、案内を出している。  
10件の件数違いについては、重度心身障害医療費助成制度等により元々の窓口負担が少額などで申請されていないとのこと。
- (委員) 保険料の減免申請が410件で却下が155件となっているがその内訳は。
- (事務局) 減免条件は、前年の世帯の合計所得が1,000万円以下で住宅、家財等の損害額が3割以上となっている。  
今回の減免却下については、合計所得1,000万円を超えるものが数件で損害額3割未満が多数であった。  
損害額が3割未満となる要因として、個人で災害保険等から保険金を受けたことにより、損害額と保険金を相殺したことにより損害額が3割以上とならなかった方が多数であった。

### 3 令和4・5年度保険料について

- (事務局) ・令和4・5年度保険料について
- (委員) 広報の方法について、市町の広報誌や新聞掲載の他、市町等のホームページへの掲載としているが、被保険者（後期高齢者）は、ホームページをあまり見ないのではないか。
- (事務局) 市町の広報誌が世帯ごとに配られるものになるため、一番の広報と考えるが、それに加えてホームページに掲載することで情報補完として考えている。
- (委員) 被保険者の負担率(11.72%)となっているが、これは国が決定しているのか。
- (事務局) お見込みのとおり。

### 4 令和4年度当初予算及び主要事業について

- (事務局) ・令和4年度佐賀県後期高齢者医療広域連合当初予算の概要  
・令和4年度主要事業について
- (委員) 健診（医科）の受診率について、どのように推移しているのか。
- (事務局) 全国は28%前後、佐賀県は24%前後で推移している。  
昨年度から受診率が22%に減少している。
- (委員) 健診への流れは、対象者に対して受診券を送付して、受診券を持って健診する流れなのか。
- (事務局) ほとんどの市町では、お見込みのとおり。  
一部で数年受診をされている方にしか送付されていない所がある。来年度も、対象者すべてに送付するように依頼している。

(委 員)	健診は、個別なのか集団なのか。
(事務局)	個別健診と集団健診と両方ある。 集団健診を行っている市町は少ない。 受診者数については、集団健診は前年と変わりはないが、個別健診の方の受診が大きく減少している。 健診を行っている医療機関が、コロナ対応により健診自体が厳しい状況だと思われる。

## 5 窓口負担の見直し等に係る対応について

(事務局)	・ 窓口負担の見直しの等に対応について  意見なし
-------	---------------------------------

## 6 マイナンバーカードの被保険者証利用について

(事務局)	・ マイナンバーカードの被保険者証利用について  意見なし
-------	-------------------------------------

## 7 その他

意見なし

(15:35 会議終了)